

Backup Exec™ Cloud Storage for Nirvanix インストールガイド

リリース 2.0

このマニュアルに記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書の下に提供され、許諾条件に従ってのみ使用できます。

マニュアルバージョン: 2012

法的通知と登録商標

Copyright © 2012 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec および Symantec ロゴは、Symantec Corporation または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

このシマンテック製品には、サードパーティ(「サードパーティプログラム」)の所有物であることを示す必要があるサードパーティソフトウェアが含まれている場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。サードパーティプログラムについて詳しくは、この文書のサードパーティの商標登録の付属資料、またはこのシマンテック製品に含まれる **TPIP ReadMe File** を参照してください。

本書に記載されている製品は、その使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。本書のいかなる部分も、**Symantec Corporation** およびそのライセンサーからの事前の文書による許諾を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製してはならないものとします。

本書は、「現状のまま」提供されるものであり、**Symantec Corporation** は、商品価値を有すること、お客様の特定の目的にかなうこと、権利を侵害していないことに対する暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証すべてから免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。**SYMANTEC CORPORATION** は、提供されるパフォーマンスまたは本書の使用に関連した付随的、または、結果的な損害に対して、一切責を負わないものとします。本書の内容は、事前の通知なく、変更される可能性があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、**FAR 12.212**の規定によって商業用コンピュータソフトウェアとみなされ、**FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」**、**DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial Computer Software Documentation」**、その他の後継規則の規定により制限権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示、開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Symantec Corporation
350 Ellis Street
Mountain View, CA 94043

<http://www.symantec.com>

Printed in the United States of America.

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

目次

第 1 章	インストール手順	7
	Backup Exec Cloud Storage for Nirvanix OpenStorage プラグインのインストールについて	7
	Nirvanix OpenStorage プラグインで Backup Exec を使用するための必要条件	8
	Nirvanix ストレージ容量のプロビジョニングについて	9
	Backup Exec の Nirvanix OpenStorage プラグインのインストール	9
	Windows システムのインストーラパッケージのファイル	10
	Nirvanix の設定ユーティリティについて	11
	Windows プラットフォームでの Nirvanix 設定ユーティリティの実行	12
	Nirvanix の設定ユーティリティオプション	12
	Backup Exec への Nirvanix OpenStorage デバイスの追加	13
第 2 章	ユーザー設定ファイル	15
	ユーザー設定ファイルの作成	15
	ユーザー設定ファイルオプション	16
付録 A	Nirvanix ストレージの設定	19
	Backup Exec の Nirvanix ストレージの設定	19

インストール手順

この章では以下の項目について説明しています。

- [Backup Exec Cloud Storage for Nirvanix OpenStorage プラグインのインストールについて](#)
- [Nirvanix OpenStorage プラグインで Backup Exec を使用するための必要条件](#)
- [Nirvanix ストレージ容量のプロビジョニングについて](#)
- [Backup Exec の Nirvanix OpenStorage プラグインのインストール](#)
- [Nirvanix の設定ユーティリティについて](#)
- [Backup Exec への Nirvanix OpenStorage デバイスの追加](#)

Backup Exec Cloud Storage for Nirvanix OpenStorage プラグインのインストールについて

Backup Exec™ Cloud Storage for Nirvanix OpenStorage プラグインによって、シマンテック社のデータ保護アプリケーションが Nirvanix Storage Delivery Network. にアクセスできるようになります。

このインストールガイドは Nirvanix ストレージ容量を設定し、Backup Exec サーバーに Nirvanix OpenStorage プラグインのパッケージをインストールする際に使用してください。

表 1-1 Backup Exec Cloud Storage for Nirvanix OpenStorage プラグインのインストール

手順	処理	詳細
手順 1	Nirvanix のストレージスペースをプロビジョニングします。	p.9 の「 Nirvanix ストレージ容量のプロビジョニングについて 」を参照してください。
手順 2	すべての必要条件が満たされること確認します。	p.8 の「 Nirvanix OpenStorage プラグインで Backup Exec を使用するための必要条件 」を参照してください。
手順 3	Nirvanix OpenStorage のプラグインをインストールします。	p.9 の「 Backup Exec の Nirvanix OpenStorage プラグインのインストール 」を参照してください。
手順 4	Nirvanix 設定ユーティリティを実行します。	p.11 の「 Nirvanix の設定ユーティリティについて 」を参照してください。
手順 5	Backup Exec に Nirvanix OpenStorage デバイスを追加します。	p.13 の「 Backup Exec への Nirvanix OpenStorage デバイスの追加 」を参照してください。
(省略可能) 手順 6	Nirvanix のプラグインを調整するユーザー設定ファイルを作成します。	p.15 の「 ユーザー設定ファイルの作成 」を参照してください。

Nirvanix OpenStorage プラグインで Backup Exec を使用するための必要条件

Nirvanix OpenStorage プラグインで Backup Exec を実行するためには、次の項目を満たす必要があります。

- Nirvanix ストレージ
次の Web サイトを通して Nirvanix ストレージを購入できます。
<http://www.nirvanix.com/partners/symantec.aspx>
- 設定された Nirvanix ストレージのアカウント
- Backup Exec 2012

次の項目をインストールする必要があります。

- Nirvanix OpenStorage プラグインは、Backup Exec サーバーと、Nirvanix ストレージにアクセスするリモートコンピュータにインストールする必要があります。プラグインをインストールする前に Nirvanix ストレージ領域をプロビジョニングする必要があります。
p.9 の「[Nirvanix ストレージ容量のプロビジョニングについて](#)」を参照してください。
- Agent for Windows を Nirvanix ストレージにアクセスするリモートコンピュータにインストールする必要があります。
p.9 の「[Backup Exec の Nirvanix OpenStorage プラグインのインストール](#)」を参照してください。

Nirvanix ストレージ容量のプロビジョニングについて

Nirvanix OpenStorage プラグインをインストールする前に、Nirvanix ストレージ容量をプロビジョニングする必要があります。Nirvanix マスターアカウント (MA) を取得するために Nirvanix 管理ポータルを使用してください。MA は管理上の操作のために使用されます。

統合されたストレージプール (SDN アプリケーション) 管理機能を使用するためには、Nirvanix アカウントのデフォルトのノードレプリケーションのポリシーを設定する必要があります。新しいストレージプールはデフォルトのポリシーを継承しますが、ビジネスのニーズに合わせて、各ストレージプールのポリシーを調整できます。詳しくは、またはアカウントに適切な設定があることを確認するためには、Nirvanix 管理ポータルを使用して Nirvanix のカスタマーサポートに連絡してください。

p.8 の「[Nirvanix OpenStorage プラグインで Backup Exec を使用するための必要条件](#)」を参照してください。

Backup Exec の Nirvanix OpenStorage プラグインのインストール

Nirvanix OpenStorage プラグインをインストールし、Nirvanix の設定ユーティリティを実行します。設定ユーティリティは後で実行することもできます。

p.7 の「[Backup Exec Cloud Storage for Nirvanix OpenStorage プラグインのインストールについて](#)」を参照してください。

Backup Exec の Nirvanix OpenStorage プラグインをインストールする方法

- 1 Backup Exec がまだインストールされていなければ、インストールします。
- 2 ダウンロードした Windows MSI ファイル (SYMCpinirvanix-<version>_AMD64.msi または SYMCpinirvanix-<version>_x86.msi) をダブルクリックしてください。
p.10 の「Windows システムのインストーラパッケージのファイル」を参照してください。
- 3 [セットアップ]ダイアログボックスで[使用許諾契約書に同意します]チェックボックスにチェックマークをつけ、[インストール]をクリックします。
- 4 次のいずれかを実行します。

プラグインのインストールが完了した後、Nirvanix の設定ユーティリティを開始する方法

次に示す順序で操作を実行します。

- [完了]のダイアログボックスで、[終了した後Nirvanix の設定ユーティリティを起動する]チェックボックスをクリックし、次にセットアップを完了するために[完了]をクリックします。
- Nirvanix の設定ユーティリティで、適切なオプションを完了します。
p.12 の「Nirvanix の設定ユーティリティオプション」を参照してください。

プラグインのインストールを閉じ、Nirvanix の設定ユーティリティを後で実行する方法

[完了]のダイアログボックスで、[完了]をクリックします。

p.11 の「Nirvanix の設定ユーティリティについて」を参照してください。

Windows システムのインストーラパッケージのファイル

Windows パッケージは SYMCpinirvanix-<version>_AMD64.msi ファイルか SYMCpinirvanix-<version>_x86.msi ファイルで配布されます。

表 1-2 Windows パッケージのファイル

ファイル	説明
libstspinirvanix.dll	Nirvanix OpenStorage のプラグインを含んでいます
vxcrypto.dll	証明書管理の実際の運用を提供します
vxssl.dll	Secure Sockets Layer (SSL v2/v3) とトランスポート層セキュリティ (TLS v1) のプロトコルを提供します

ファイル	説明
vxxml4c.dll	複数のエンコードに対して XML 解析を提供します
nirvanix_config.exe	Windows の設定ユーティリティを含んでいます
cacert.pem	認証の SSL 証明書を含んでいます

Nirvanix の設定ユーティリティについて

マスターのアカウント名、ストレージのプール名、子アカウント名、およびサイズの限度を入力するには、Nirvanix の設定ユーティリティを使います。これらの値は Nirvanix アプリケーションと子アカウントを自動的に作成するために使用されます。OpenStorage デバイスを Backup Exec に追加すると、これらの設定は Nirvanix Storage Delivery Network アカウントを自動的に更新します。これらの値は次のファイルに保存されます。

C:\Program Files\Symantec\Backup Exec\libstspinirvanix.conf

Nirvanix 設定ユーティリティは次のように表示されます。

Backup Exec Cloud Storage for Nirvanix Configuration
Symantec Backup Exec™ Cloud Storage for Nirvanix

Master Account Name
The master account name (as provided by Nirvanix) can be used to suggest a unique storage pool name. If you do not provide a master account name, no suggestion will be offered.
Master Account Name (optional):

Storage Pool Name
The storage pool name must be unique across all Nirvanix accounts. If you have specified a master account name above, then a suggested value has been filled in. You can accept it or choose another one.
The storage pool name cannot exceed 50 characters, and it cannot contain any of the following characters: \ : ? | * * < > [] or any space.
Storage Pool Name:

Child Account Name
The child account is used as a storage element within the data protection application, for example, a disk volume in NetBackup, or a logical storage unit in Backup Exec.
The child account name cannot exceed 320 characters, and it cannot contain any of the following characters: \ : ? | * * < > [] ~ ' ! @ % ^ & () + = { } ; , or any space.
Child Account Name:

Child Account Size Limit
A quota for the child account.
Child Account Size Limit: GB

p.12 の「Windows プラットフォームでの Nirvanix 設定ユーティリティの実行」を参照してください。

Windows プラットフォームでの Nirvanix 設定ユーティリティの実行

Nirvanix アプリケーションおよび子アカウントの値を入力するために Nirvanix 設定ユーティリティを実行します。

p.11 の「[Nirvanix の設定ユーティリティについて](#)」を参照してください。

Windows プラットフォームで Nirvanix 設定ユーティリティを実行する方法

- 1 Nirvanix OpenStorage のプラグインをインストールしたコンピュータで、次のディレクトリに移動します。

C:\Program Files\Symantec\Backup Exec

- 2 nirvanix_config.exe をダブルクリックします。

- 3 必要に応じてオプションを設定します。

p.12 の「[Nirvanix の設定ユーティリティオプション](#)」を参照してください。

- 4 [OK] をクリックします。

Nirvanix の設定ユーティリティオプション

Nirvanix 設定ユーティリティは Cloud Storage for Nirvanix の設定を含んでいます。

p.12 の「[Windows プラットフォームでの Nirvanix 設定ユーティリティの実行](#)」を参照してください。

表 1-3 Nirvanix の設定ユーティリティオプション

項目	説明
Master Account Name	<p>Nirvanix ストレージ容量のプロビジョニング時に入手した Nirvanix マスターアカウント (MA) の名前を指定できます。このフィールドは省略可能です。この名前が入力されると、ストレージプール名 (次に入力するフィールド) に提案するために使用されます。提案されるストレージプール名は、入力された名前と追記される接尾辞 (「_backup」) を使用して作成されます。</p> <p>たとえば、「Symantec-India」とマスターアカウント名を入力すれば、ユーティリティはストレージプール名として「Symantec-India_backup」を提案します。その後、必要に応じて提案された名前を編集できます。</p> <p>この値は設定ファイルに追加されません。</p>

項目	説明
Storage pool Name	<p>マスターアカウント名のフィールドが入力されたら、そのエントリに基づいてストレージプール名が表示されます。この名前は Nirvanix クラウドストレージのアプリケーション名として使用されません。この名前を使用するか、または異なる名前を作成できます。</p> <p>この値は STORAGE_POOL_NAME=<storage pool name> として設定ファイルに追加されます</p>
Child Account Name	<p>プラグインがストレージプールの下に作成する子アカウントの名前を指定できます。Backup Exec は OpenStorage 論理ストレージユニット (LSU) の場所として子アカウントを扱います。</p> <p>p.13 の「Backup Exec への Nirvanix OpenStorage デバイスの追加」を参照してください。</p> <p>子アカウント名は 100 文字を超過できません。</p> <p>この値は CHILD_ACCOUNT_NAME=<child account name> として設定ファイルに追加されます</p>
Child Account Size	<p>ストレージのプールの最大許容サイズを指定できます。このフィールドは省略可能です。MB、GB、または TB 単位で値を入力できます。無制限のボックスにチェックマークを付けると (デフォルトの状態)、子アカウントのストレージ容量は無制限です。</p> <p>指定すると、この値は CHILD_ACCOUNT_SIZE=<child account size in bytes> として設定ファイルに追加されます</p>

Backup Exec への Nirvanix OpenStorage デバイスの追加

Nirvanix OpenStorage デバイスを追加するために Backup Exec 管理コンソールのストレージの設定ウィザードを使用します。

Backup Exec の詳細については『Backup Exec 管理者ガイド』を参照してください。

Backup Exec に Nirvanix OpenStorage デバイスを追加する方法

- 1 Backup Exec 管理コンソールで[設定]グループの[ストレージ]タブで[ストレージを設定]をクリックします。
- 2 [Network Storage]をクリックし[次へ]をクリックします。
- 3 [Cloud Storage]をクリックし[次へ]をクリックします。
- 4 [名前]フィールドに Nivanix001 のような Nirvanix のデバイス名を入力し、必要に応じて説明を入力し、次に[次へ]をクリックします。
- 5 プロバイダの場合、[Nirvanix]をクリックし、[次へ]をクリックします。
- 6 クラウドデバイスの接続情報を入力するようにメッセージが表示された場合、Nirvanix で提供しているサービス名を入力するか、または[サーバー名]フィールドに [Nirvanix.com]と入力し、次にクリックしてください。
- 7 このサーバーに接続するために使うログオンアカウントを選択するようにメッセージが表示された場合、[新規]をクリックします。
- 8 3 つの[アカウントクレデンシャル]フィールドおよび[アカウント名]フィールドを完了し、次に[OK]をクリックします。
- 9 クラウドデバイスの接続情報を再度入力するようにメッセージが表示された場合、[次へ]をクリックします。
- 10 クラウドデバイスの場所を選択するためには、Nirvanix の設定ユーティリティで入力した子アカウント名をクリックし、次に[次へ]をクリックします。

p.11 の「[Nirvanix の設定ユーティリティについて](#)」を参照してください。
- 11 [概略]画面を確認し、[完了]をクリックします。
- 12 デバイスをオンラインにするために Backup Exec サービスを再起動するようにメッセージが表示されたとき[はい]をクリックします。
- 13 [Backup Exec Services Manager]ダイアログボックスで、[すべてのサービスを再起動]をクリックし、再起動操作が完了した後、[閉じる]をクリックします。
- 14 [Backup Exec サーバーに接続]のダイアログボックスで、ユーザー名およびパスワードを入力し、次にクラウドストレージデバイスをオンラインにするために[接続]をクリックします。

ユーザー設定ファイル

この章では以下の項目について説明しています。

- [ユーザー設定ファイルの作成](#)
- [ユーザー設定ファイルオプション](#)

ユーザー設定ファイルの作成

ユーザー設定ファイルは Nirvanix OpenStorage プラグインの調整のために作成できる省略可能なファイルです。

ユーザー設定ファイルが利用できないか、オプションファイルに別の値を指定していない場合、デフォルト値が使用されます。

サンプルのユーザー設定ファイルの内容を次に示します。

```
BUFFER_SIZE=10485760
CURL_CONNECT_TIMEOUT=300
CURL_TIMEOUT=600
LOG_CURL=YES
USE_SSL=YES
USE_SSL_RW=YES
```

ユーザー設定ファイルを作成する方法

- 1 Nirvanix OpenStorage プラグインがインストールされている同じディレクトリにファイルを作成します。
- 2 ファイルに `libstspinirvanix.pref` という名前をつけてください。
- 3 このファイルにオプションとその値を追加してください。
p.16 の「[ユーザー設定ファイルオプション](#)」を参照してください。

ユーザー設定ファイルオプション

ユーザー設定ファイルのオプションのデフォルト値を設定できます。

p.15 の「ユーザー設定ファイルの作成」を参照してください。

表 2-1 ユーザー設定ファイルオプション

オプション	説明	デフォルト値
BUFFER_SIZE	バッファキャッシュで使用されるバッファのサイズ (バイト単位)。 最大許容バッファサイズは 1073741824 (1 GB) です。そのサイズを越える値は 1 GB にリセットされます。 バッファの使用を無効にするには BUFFER_SIZE をゼロに設定します。	10485760
CURL_CONNECT_TIMEOUT	ホストが Nirvanix ストレージサーバーに接続を試みる時間 (秒単位)。この時間後、接続されなければ libcurl がタイムアウトします。さらに 2 回まで再試行されます。 たとえば、 CURL_CONNECT_TIMEOUT が 300 (秒) に設定されれば、ホストは 300 秒 まで接続を試みます。 このタイムアウトを無効にするには CURL_CONNECT_TIMEOUT をゼロに設定します。	300 (秒、または 5 分)
CURL_TIMEOUT	データ操作の完了に割り当てられる時間 (秒単位)。操作が指定された時間で完了しなければ、中止されます。さらに 2 回まで再試行されます。 このオプションを 900 (15 分) というデフォルト値以下の値に設定することを推奨します。 このタイムアウトを無効にするには CURL_TIMEOUT をゼロに設定します。	900 (秒、または 15 分)
LOG_CURL	値に YES を指定すると libcurl メッセージのデバッグのログ記録を有効にします。Nirvanix で libcurl または通信問題をデバッグするために、このパラメータを使用してください。	いいえ
RESTRICT_IP	複数のコンシューマ IP にアップロードダウンロードトークンを使用して、アップロードおよびダウンロードの許可をかどうかを指定します。 RESTRICT_IP が [いいえ] に設定されると、アップロードダウンロードトークンを使用してアップロードおよびダウンロードすることを、複数のコンシューマ IP に許可します。 RESTRICT_IP が [はい] に設定されると、アップロードダウンロードトークンで単一のコンシューマ IP にアップロードダウンロード操作を制限します。 ネットワークアドレス変換 (NAT) またはプロキシを使用する場合は、 RESTRICT_IP を [いいえ] に設定する必要があります。	はい

オプション	説明	デフォルト値
USE_SSL	<p>プラグインが、読み取りまたは書き込み以外、すべての接続で SSL を使用するかどうかを指定します。USE_SSL は SSL のオン/オフを切り替えるグローバルオプションです。</p> <p>USE_SSL が [いいえ] に設定された場合は、SSL は使用されず、USE_SSL_RW は無視されます。</p> <p>USE_SSL が [はい] に設定された場合は、SSL はデータの読み取りと書き込み以外の Nirvanix とのすべての通信に使用されます。</p>	はい
USE_SSL_RW	<p>Nirvanix ですべてのデータの読み取り、書き込みを暗号化するために、プラグインが SSL を使用するかどうかを指定します。</p> <p>USE_SSL が [いいえ] に設定された場合は、USE_SSL_RW は無視されます。</p>	はい

Nirvanix ストレージの設定

この付録では以下の項目について説明しています。

■ Backup Exec の Nirvanix ストレージの設定

Backup Exec の Nirvanix ストレージの設定

Nirvanixの設定ユーティリティは自動的にストレージセットアップを管理します。複数の子アカウントを作成する場合など、より詳細な設定をする場合のみこの手順を使ってください。

Backup Exec の Nirvanix ストレージを設定する方法

- 1 次の URL で Nirvanix 管理ポータル Web サイトにアクセスします。
<https://nmp.nirvanix.com/>
- 2 Nirvanix マスターアカウントクレデンシヤル (例: symantec.dev7) を入力します。
- 3 [アプリケーション] をクリックし、次に [新規アプリケーションの作成] をクリックします。
- 4 名前を入力します。
たとえば、マスターアカウント名が <Nirvanix_Customer_Account> の場合、
「BackupExec-9」を使用してください。命名規則は、アプリケーション (ストレージプール) 名が Nirvanix のグローバルな名前空間内で一意であることを確認します。
Nirvanix はアプリケーション (ストレージプール) の一意のアプリケーション (ストレージプール) キーを作成します。
- 5 作成したアプリケーションを選択します。
- 6 Backup Exec がそのストレージプールサーバーの下で論理ストレージユニット (LSU) として扱う子アカウントを作成するには、[新規の子アカウントを作成] をクリックします。
- 7 子アカウントの最大ストレージ容量のような異なるクォータを設定するには、子アカウントの [詳細] タブの [表示] をクリックします。

